

私たちができるごみの減量



燃えるごみを減らしましょう

各家庭からの燃えるごみには、約40%の紙類と約30%の生ごみが入っています。この紙類には資源化できるもの（新聞紙・ダンボール・チラシなど）が多く含まれています。この紙類を資源ごみとして出せば、再資源化でき、ごみを減らすことができます。また、生ごみも工夫次第で減らすことができます。

資源ごみの出し方

家庭から出る、新聞紙、ティッシュの箱、牛乳パック、チラシなどは資源ごみです。

燃えるごみの袋には入れず、ひもで束ねて資源ごみの日に出しましょう。

また、スーパーなどでは牛乳パックや食品トレーの回収も行っています。身近なところからリサイクルを始めていきましょう。

ごみ出しの日は、市内各地域によって異なりますので、詳しくは市ホームページでご確認ください。



生ごみの出し方

生ごみは、しっかり水切りをして燃えるごみに出しましょう。

生ごみを減らすために市では生ごみ処理容器・処理機購入の助成を行っています。詳しくはお問い合わせください。

また、各自治会やリサイクルプラザでは生ごみから堆肥作りができるダンボールコンポストの講座も行っています。是非参加ください。

身近なところから、生ごみを減量していきましょう！



生ごみは、よく水を切ってごみに出しましょう

ダンボールコンポストで堆肥づくり



ごみの減量にご協力を！

クリーンセンターは大量のごみでもうおなかがいっぱい！



どうして減量が必要なの？

浦添市のクリーンセンターは今年で築30年目を迎えます。ごみの処理場としては非常に高年齢な施設となります。大量のごみ処理は施設の大きな負担となり、今後、この施設を維持していくためにはごみの減量が必要となります。

ごみ処理の費用は？

家庭から出るごみ処理にかかる費用は、一年間で一人当たり8235円になります。

4人家族だと、一日に **3.3kg**



一人一日あたり **バナナ ×6**



一日のごみの量は？

市内から出るごみの量は、一人一日あたり827グラム（バナナ6本分の4人家族で一日約3.3キログラムになります。）

浦添市のごみの排出目標

平成19年度に対して **10%以上削減!**
一人一日あたり774gに
※昨年のごみと比べて一日一人当たり55g削減
平成32年までに

平成19年度に対して **5%以上削減!**
一人一日あたり814gに
平成27年までに



問い合わせ 環境保全課
☎ 876-11234
(内線3211・3212)

家のリフォームなどで出るごみは？

業者が行う家の工事やリフォーム、付帯設備の取替えなどの際に出るごみは、その業者が処理することになります。これらのごみは業者の事業活動に伴って出た事業系廃棄物として適切に処理する必要があります。

家庭ごみとして出さないように、ご協力をお願いします。

【例】
畳・床の張替え、便器・洗面台の取替え、工事などで出たブロック、建築廃材、その他業者の事業活動で出されたごみなど